

**平成28年12月期  
第2四半期決算説明会資料**



**ダイトエレクトロン株式会社**

**証券コード：7609**

**連結決算概要について  
(業績結果および業績予想)**



**代表取締役社長 前 績行**

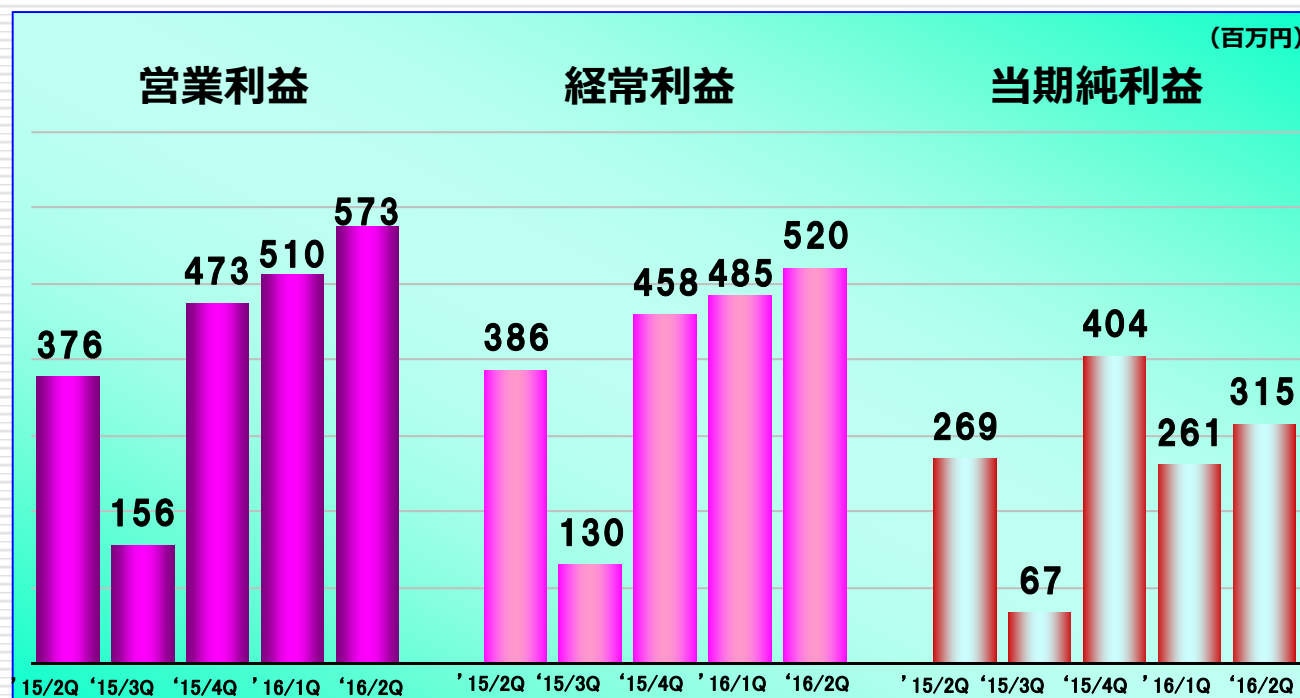
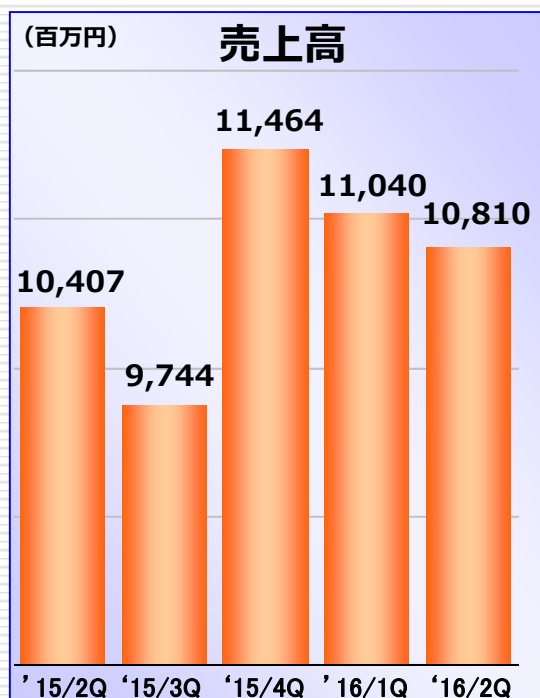
# 16/12期 第2四半期累計期間 連結業績結果

■ **売上高** 21,850百万円  
 (前年同期比 99.3%)

■ **営業利益** 1,083百万円  
 (前年同期比 114.1%)

■ **経常利益** 1,005百万円  
 (前年同期比 106.1%)

■ **当期純利益** 576百万円  
 (前年同期比 87.3%)



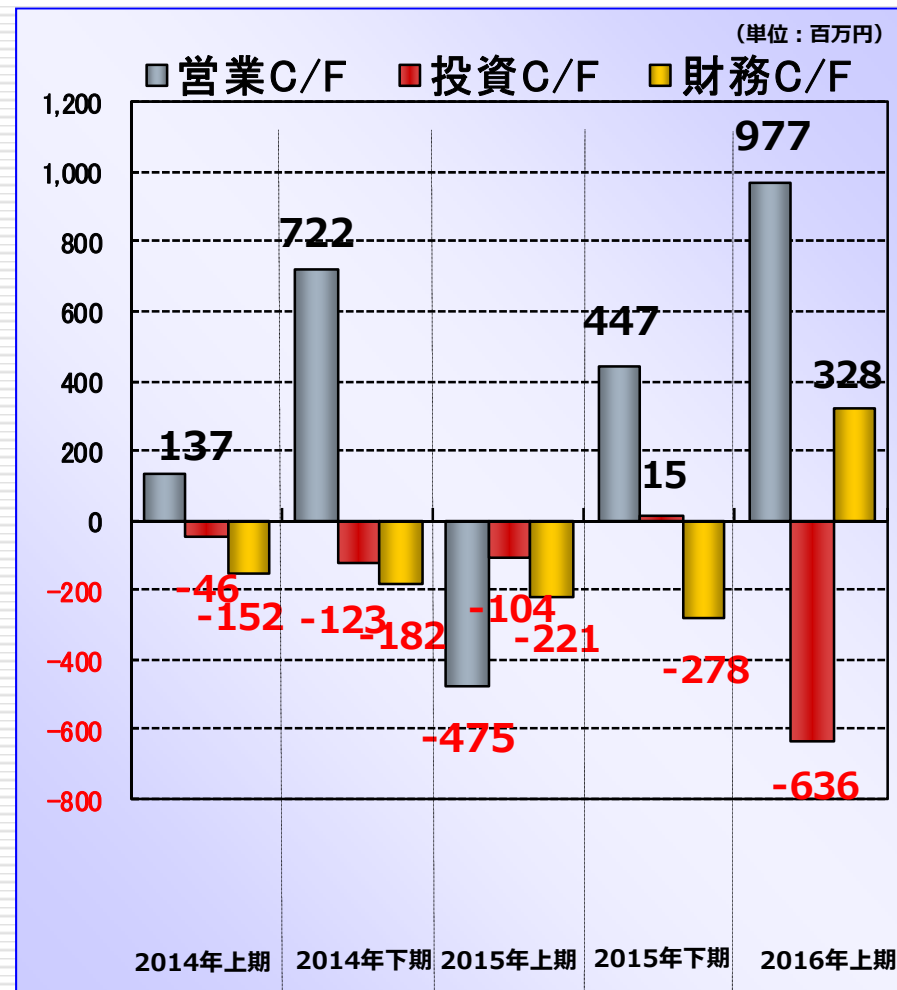
# 16/12期 第2四半期累計期間 財政状態



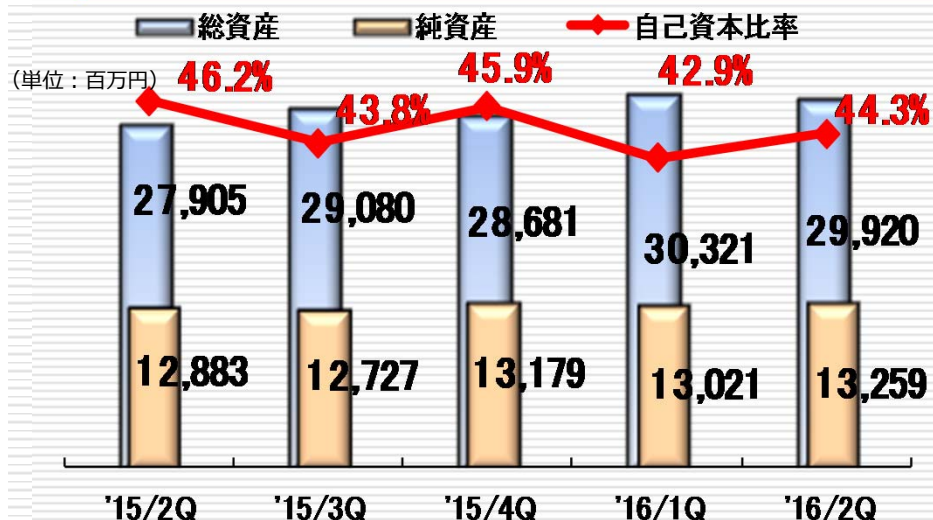
## 連結財政状態

<b>総資産</b> 29,920百万円	<b>負債</b> 16,661百万円
	<b>純資産</b> 13,259百万円

## 連結キャッシュ・フローの状況



## 総資産・純資産・自己資本比率



## 減価償却費・設備投資額・研究開発費

(単位：百万円)

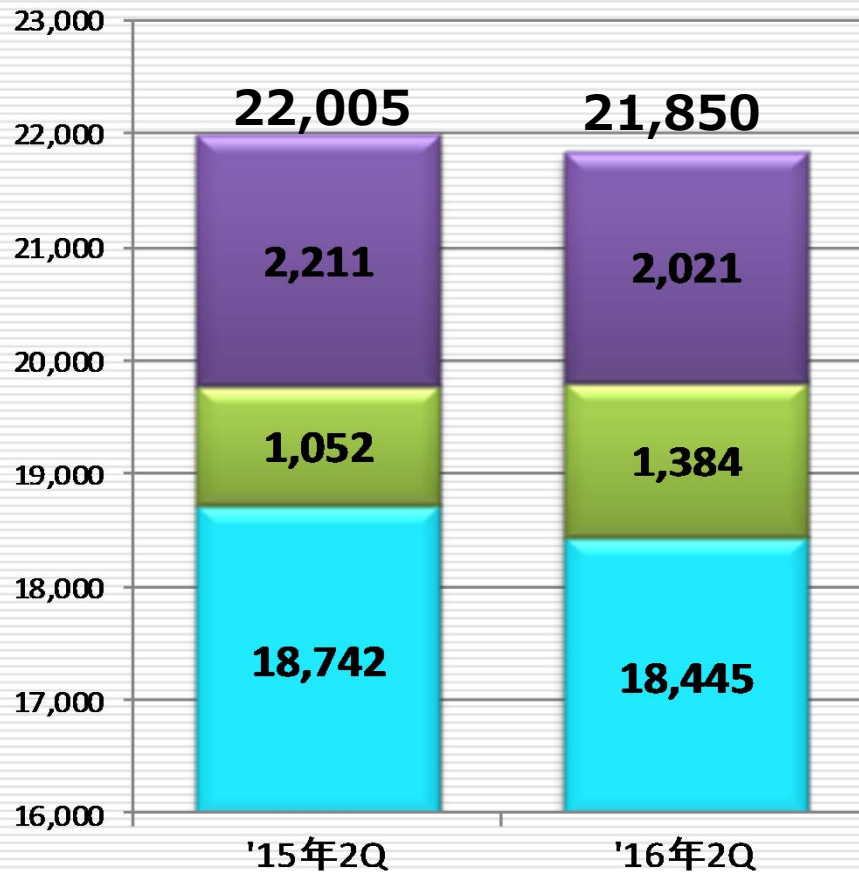
	'14/12 (2Q実績)	'15/12 (2Q実績)	'16/12 (2Q実績)	前年同期比 増減	'16/12 通期予算
減価償却費	204	172	165	△7	360
設備投資額	108	143	668	525	1,302
研究開発費	61	53	83	30	101

# 16/12期 第2四半期累計期間 セグメント別概況



## 売上

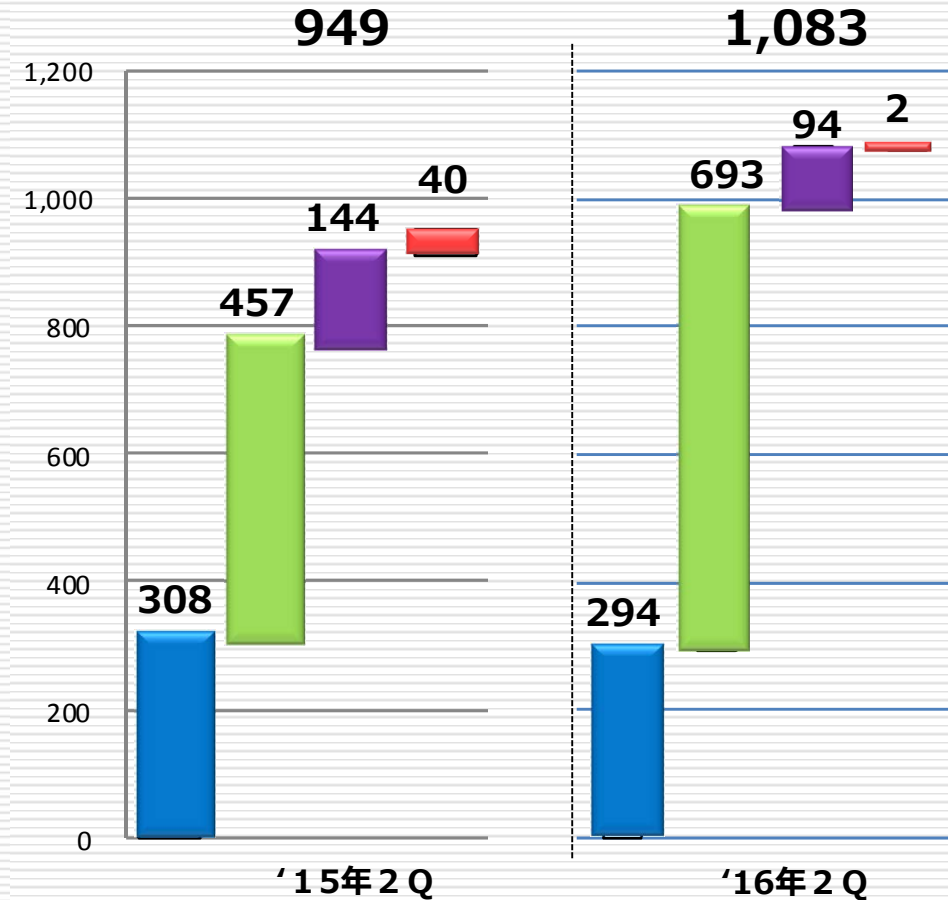
(単位：百万円)



■ 国内販売会社 ■ 国内製造会社 ■ 海外子会社

## 営業利益

(単位：百万円)



■ 国内販売会社 ■ 国内製造会社 ■ 海外子会社 ■ 調整額

(注)セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販管費及び一般管理費です。

# 16/12期 商品セグメント 四半期別業績推移



## 電子機器及び部品関連

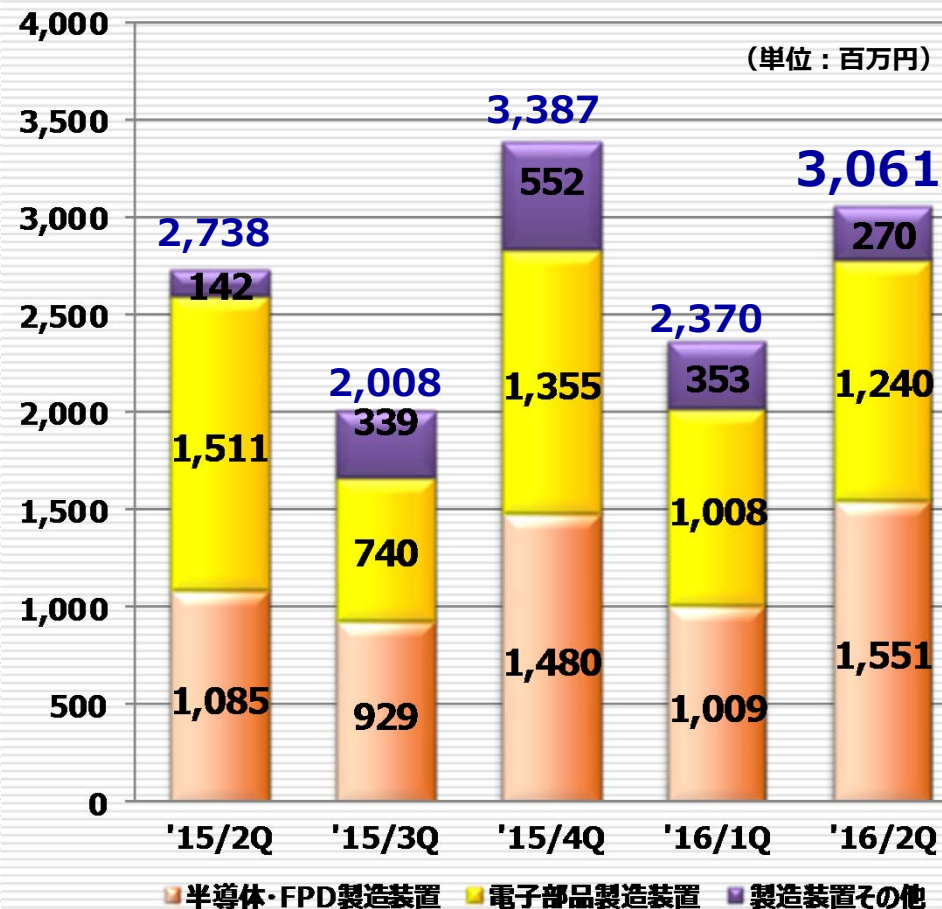
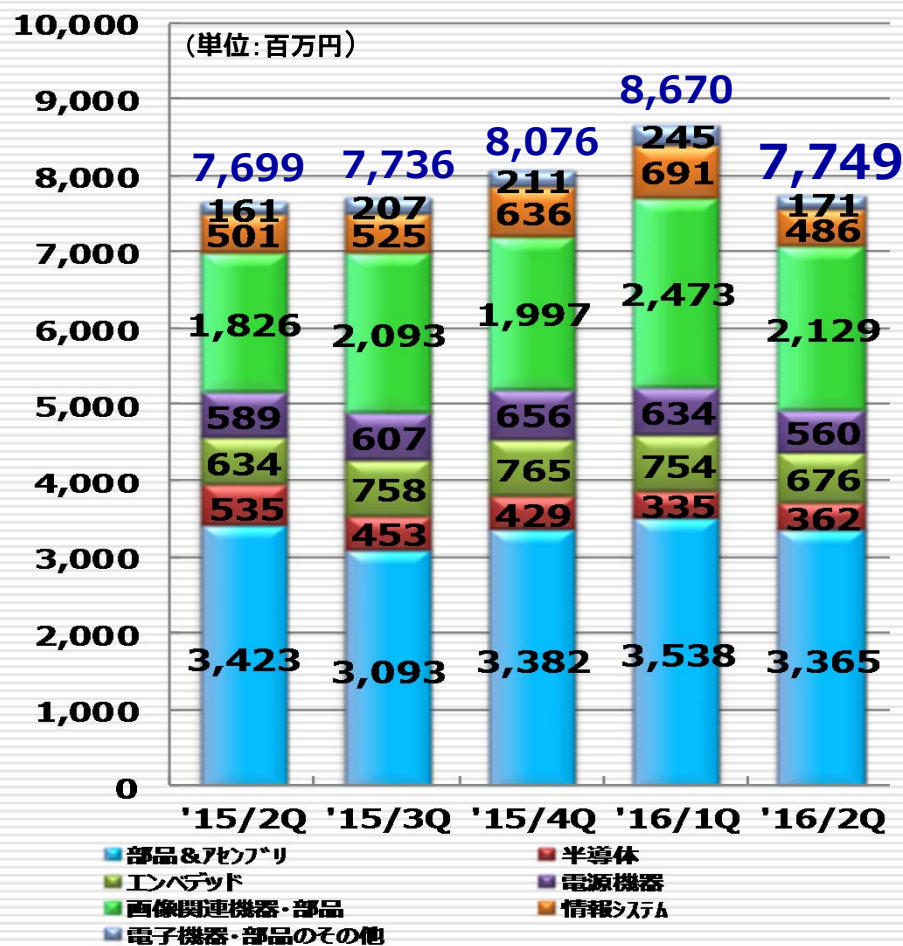
■売上高 **16,419百万円**

◆前年同期比 **102.7%**

## 製造装置関連

■売上高 **5,431百万円**

◆前年同期比 **90.3%**

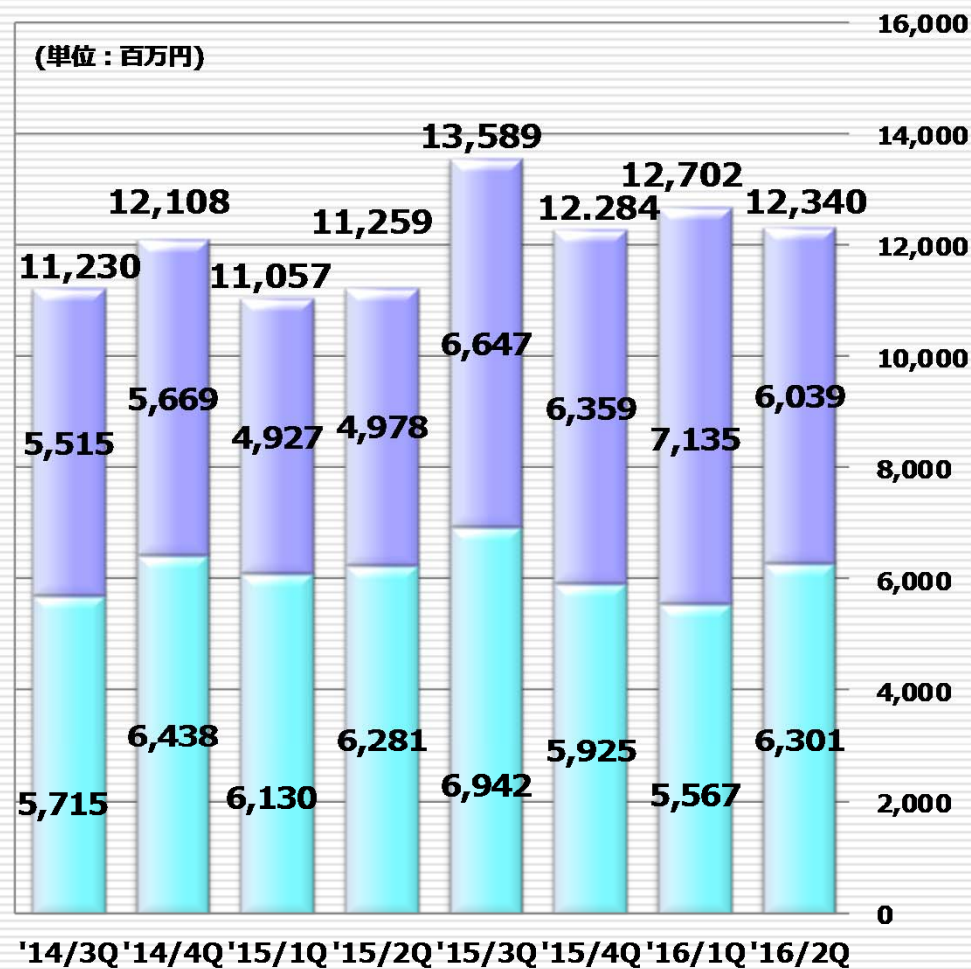
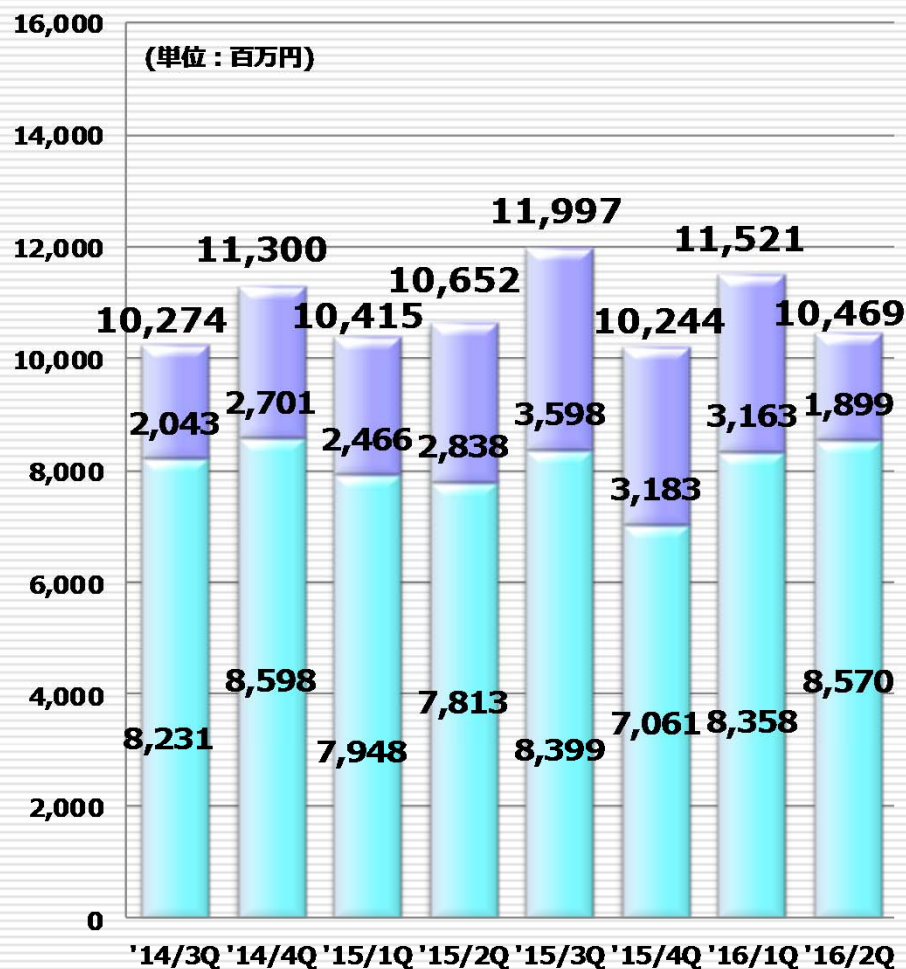


# 商品セグメント別 四半期 連結受注高・受注残高推移



## 受注高

## 受注残高



■ 電子機器及び部品 ■ 製造装置



# 16/12期 通期連結業績見通し

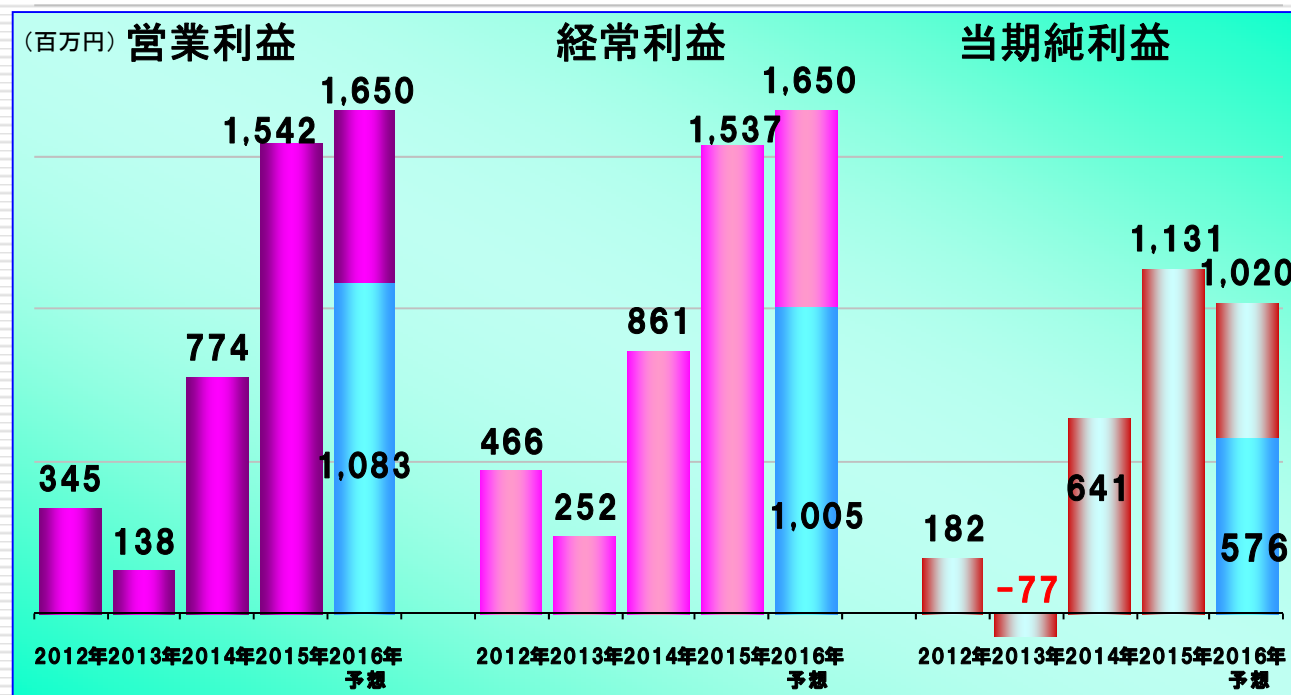
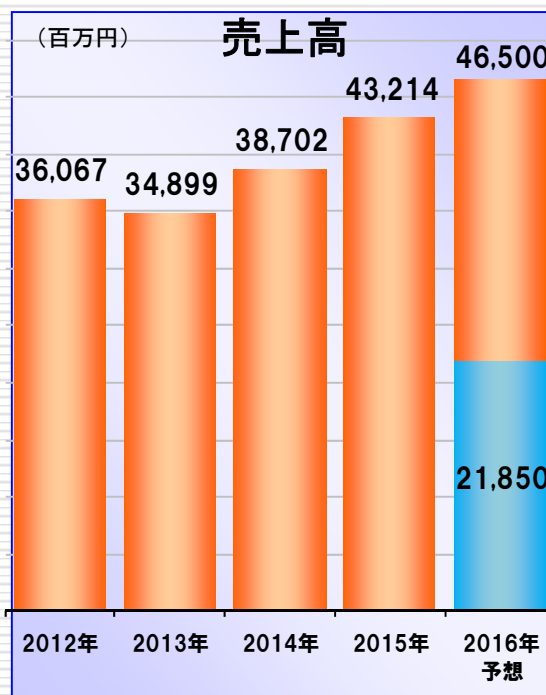


■ **売上高** 46,500百万円  
(前年比 107.6%)

■ **営業利益** 1,650百万円  
(前年比 107.0%)

■ **経常利益** 1,650百万円  
(前年比 107.3%)

■ **当期純利益** 1,020百万円  
(前年比 90.1%)



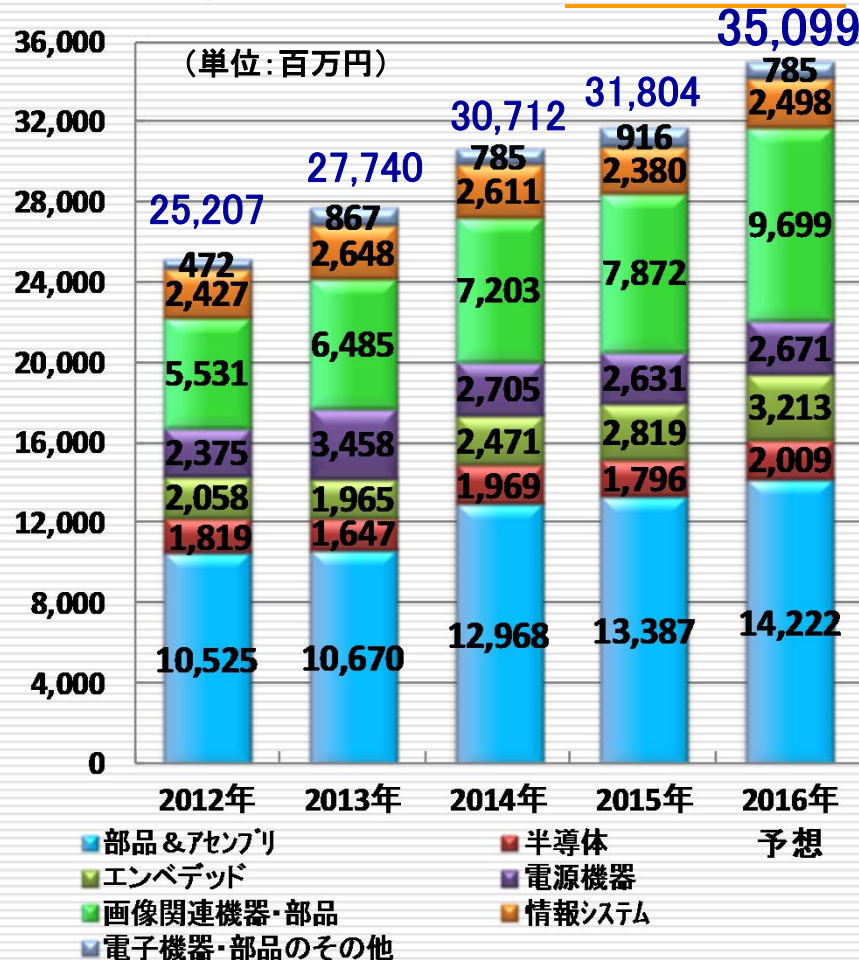
# 16/12期 商品セグメント別連結業績見通し



## 電子機器及び部品関連

■ 売上高 **35,099百万円**

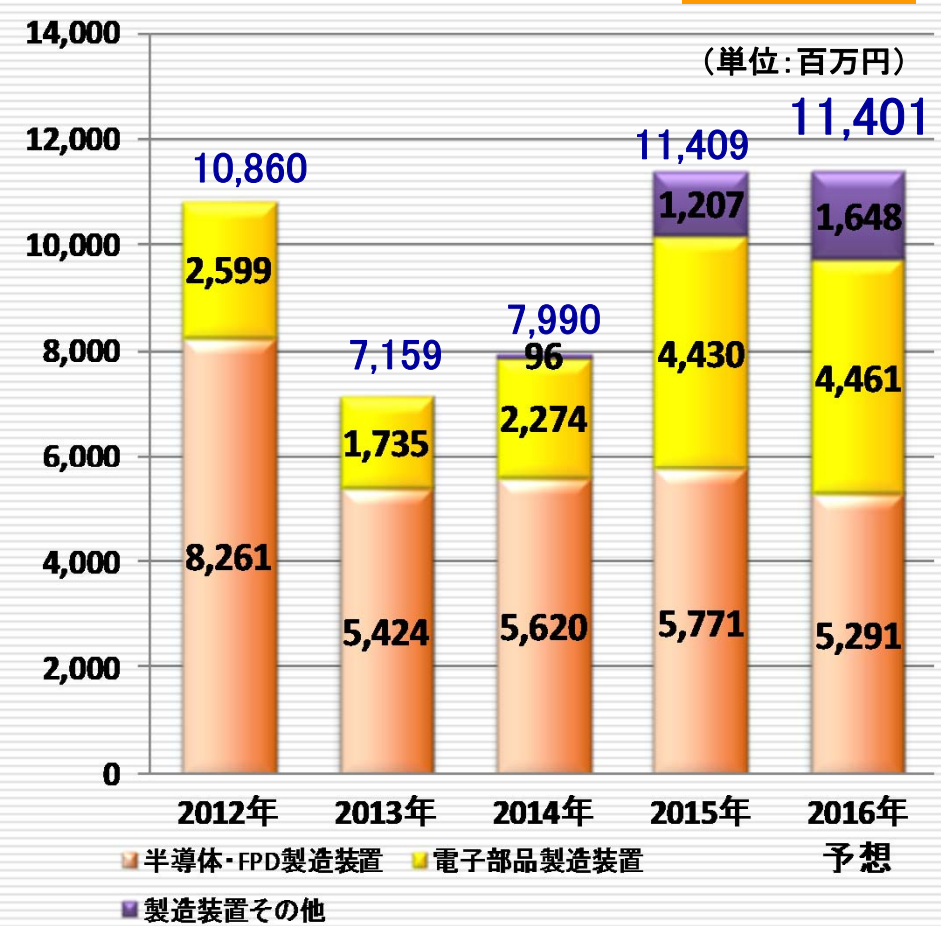
◆ 前年比 **110.4%**



## 製造装置関連

■ 売上高 **11,401百万円**

◆ 前年比 **99.9%**



製造装置部門に関しましては、前期より商品別セグメントを見直した関係で、新商品セグメントで表記しております。

# 第8次中期経営計画

## 及び

# 2016年グループ経営方針

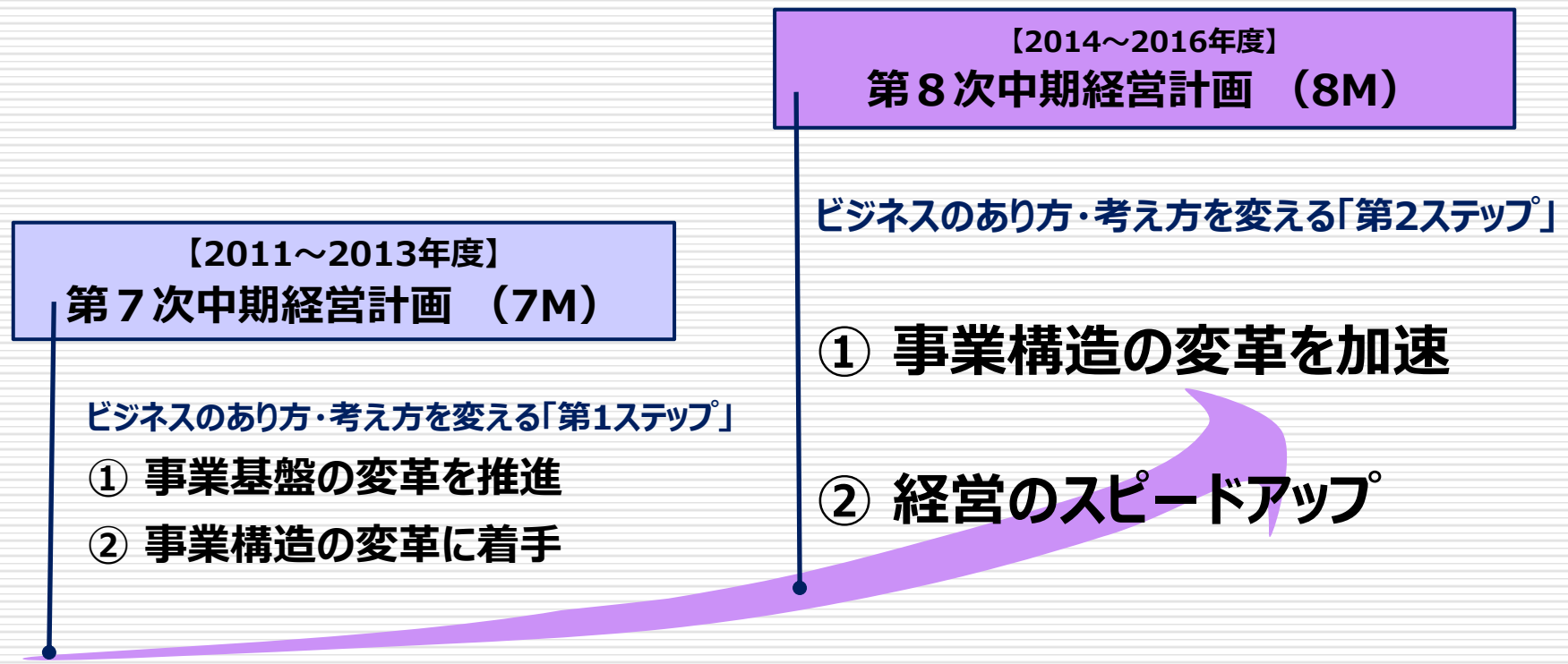
# 第8次 中期経営計画の概要



## グループ・ステートメント

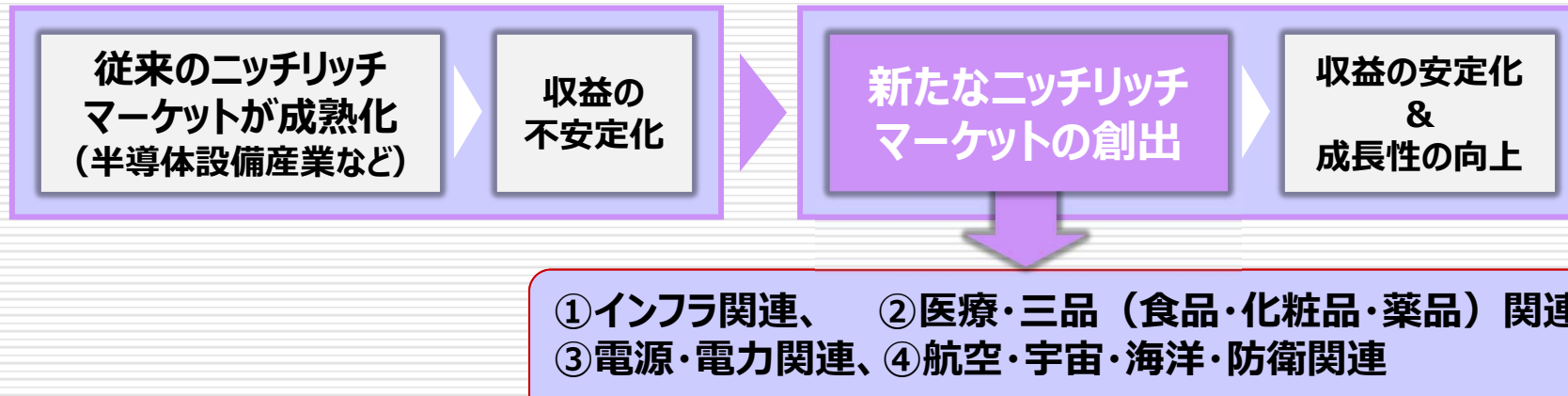
# Coordinator for the *NEXT*

～グローバルな観点で市場を捉え、お客様ニーズの一步先の価値を創造し、提供する～

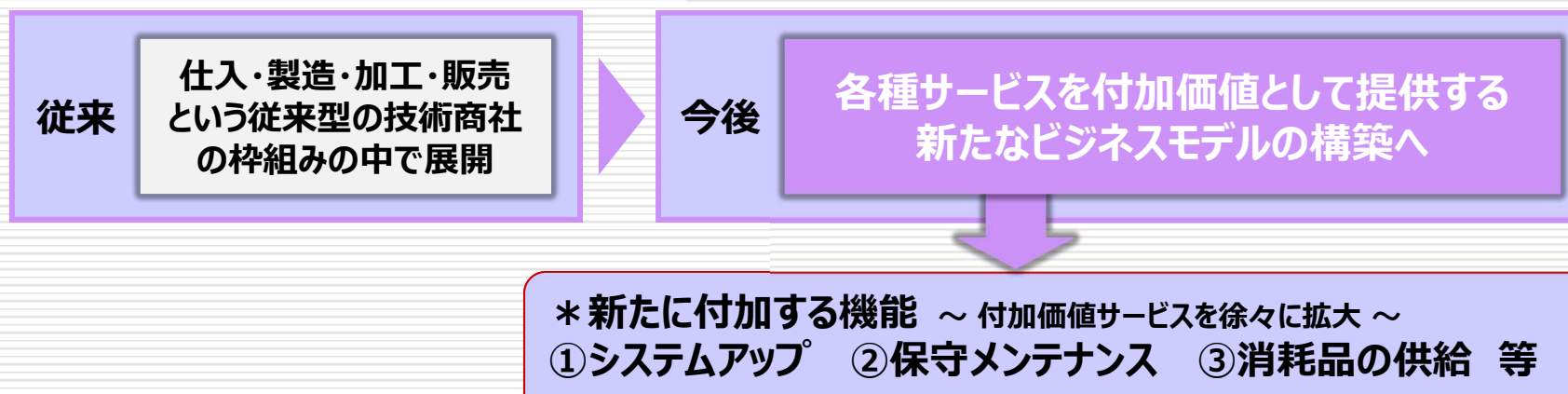


# 第8次 中期経営計画の課題

## 1 事業ポートフォリオの変革



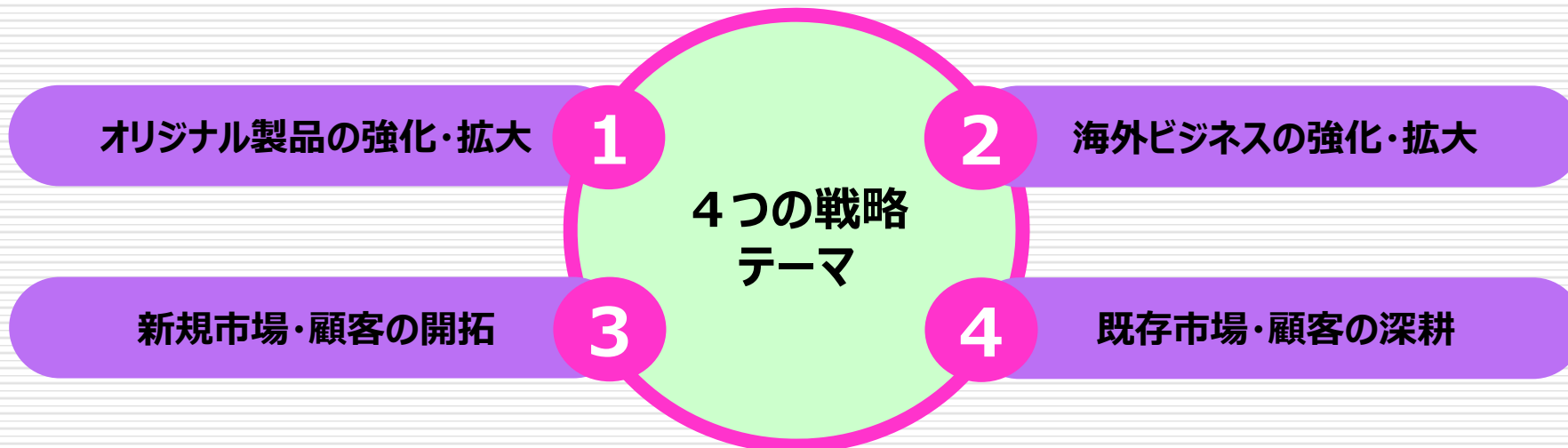
## 2 ビジネスモデルの変革



## 「事業構造の変革」

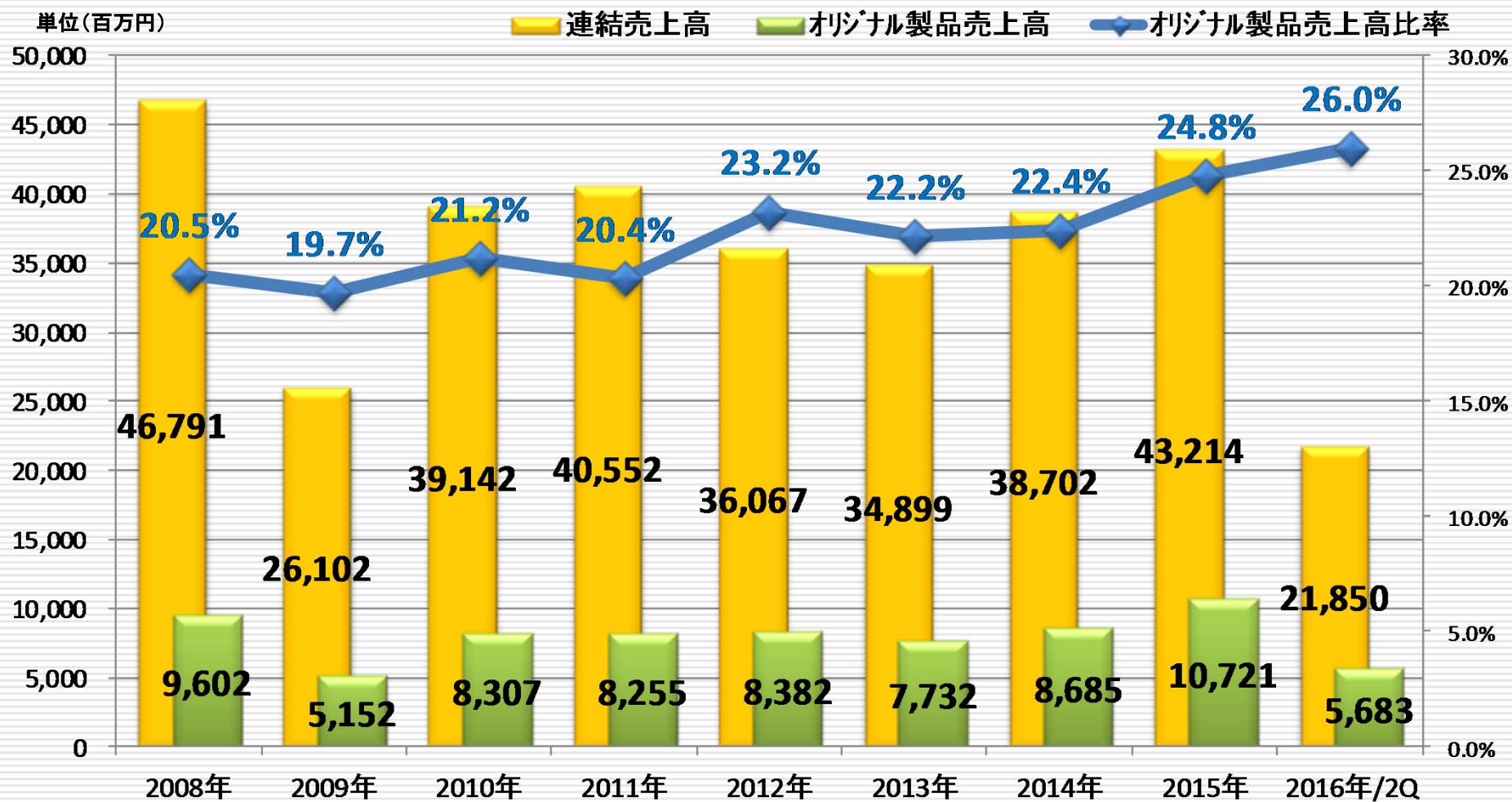
- ・事業ポートフォリオの変革
  - ・ビジネスモデルの変革
- } 視野に入れ

次の4つの戦略テーマに取り組んでおります



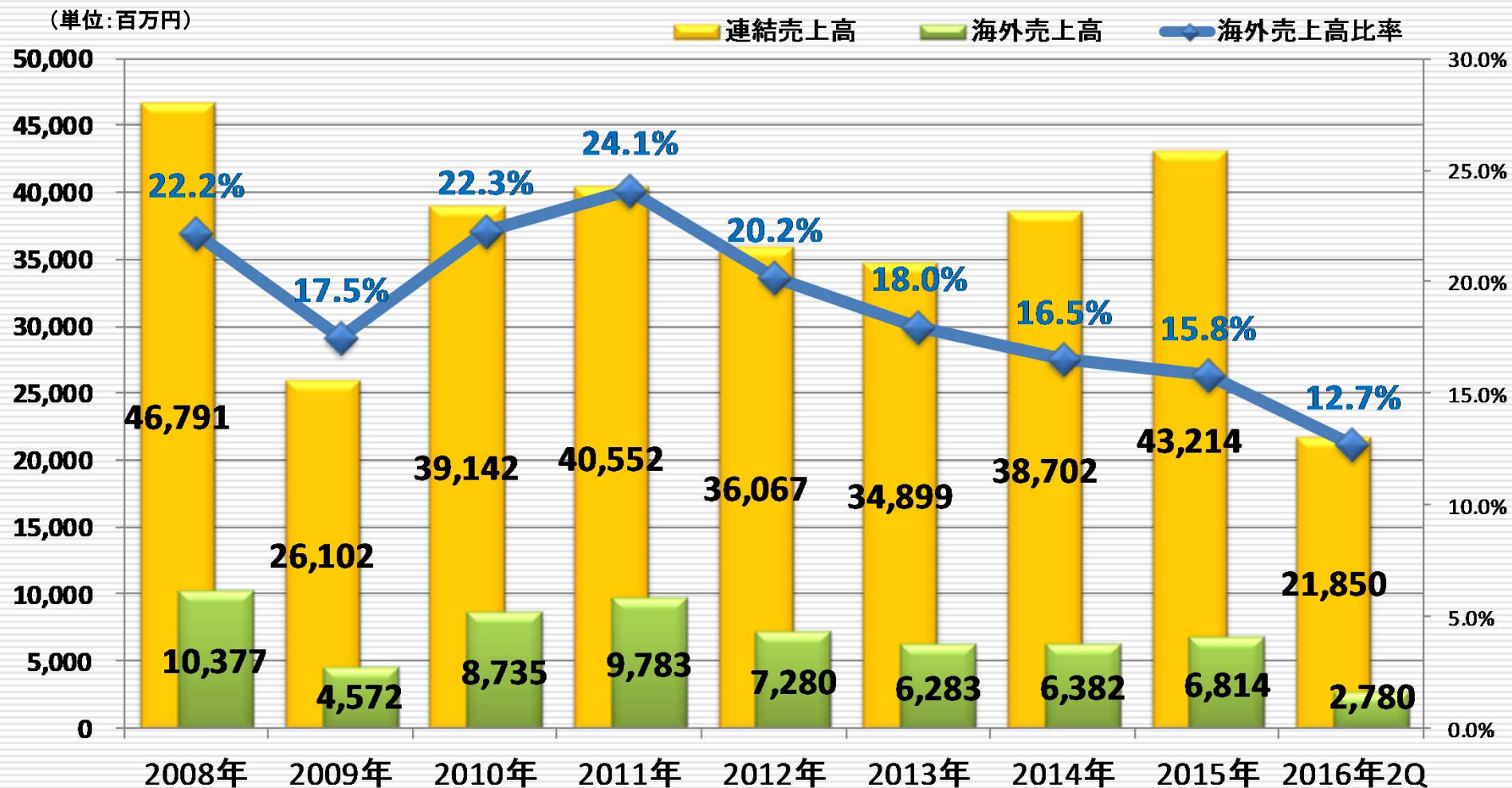
# ① オリジナル製品の強化・拡大

## 対売上高オリジナル製品比率 (%)



## ② 海外ビジネスの強化・拡大

### 海外売上高比率 (%)



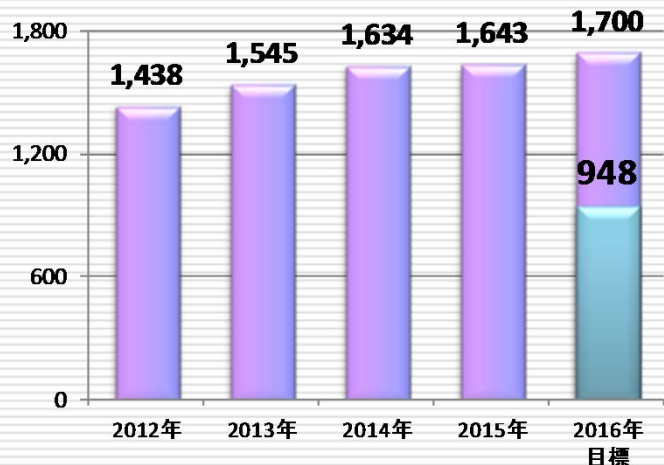


# ③ 新規市場・顧客の開拓



## メディカル関連市場

(単位：百万円)



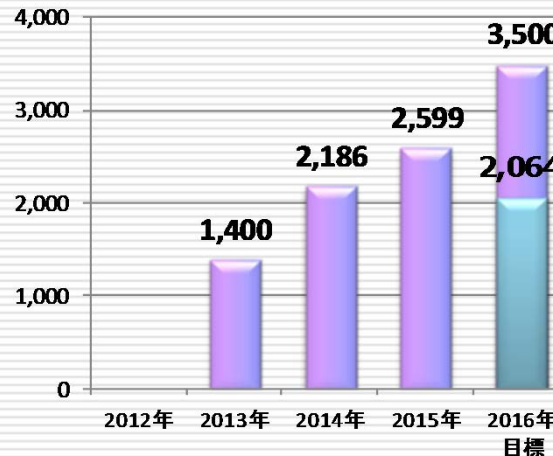
スイッチング電源



医療用カート

## オートモーティブ関連市場

(単位：百万円)



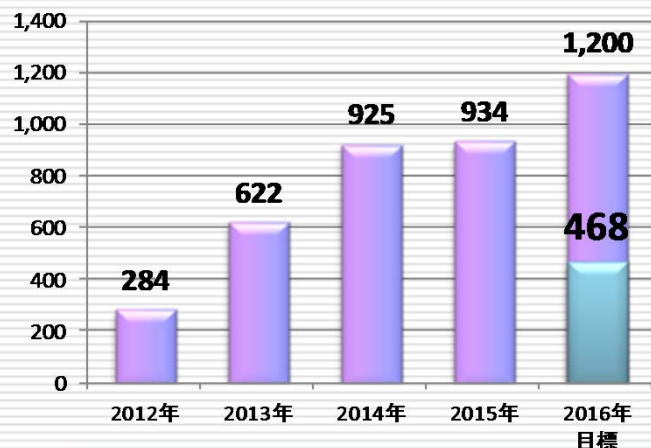
塗装色検査装置  
(測定イメージ)



3D形状計測装置

## スマートグリッド関連市場

(単位：百万円)



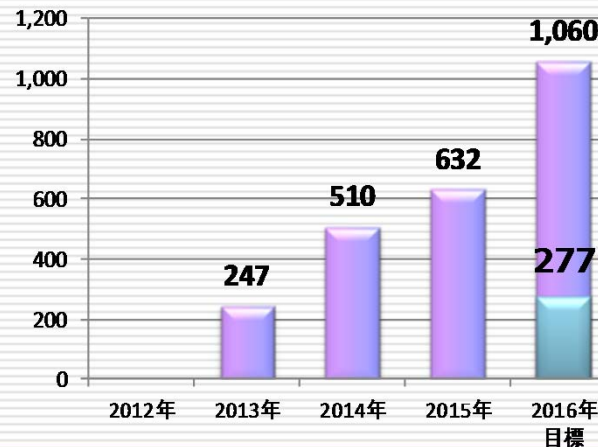
コンピュータボード



産業用カスタムPC

## グリーン・ファシリティ関連市場

(単位：百万円)



EATON製UPS

## ④ 既存市場・顧客の深耕と横展開

### 注力分野 1 高機能部品 & ASSY

#### ターゲット市場

航空・宇宙用

船舶・特需用途

鉄道車両向け

海洋開発



耐水・耐圧コネクタ

### 注力分野 2 パワーデバイス関連

#### ターゲット市場

- ・SiCメーカー
- ・パワーデバイス用シリコンメーカー

- ・車載用
- ・電力用
- ・家庭用など



ウェーハ面取機

### 注力分野 3 高輝度LED関連

#### ターゲット市場

- ・サファイア基盤メーカー
- ・LEDメーカー

- ・バックライト用途
- ・自動車用途
- ・一般照明用途



LED共晶ボンダー

### 注力分野 4 電源関連及び2次電池分野

#### ターゲット市場

医療機器関連

計測機器関連

半導体製造装置関連

放送機器関連



スイッチング電源

# 当社の事業構造 (16/12期 第2四半期実績)

事業	商品セグメント別	売上高構成比	総利益率	オリジナル製品比率	海外売上比率	
電子機器・部品	電子部品&アセンブリ部品	31.6%	23.5%	26.0% (前年同期：25.5%)	北米 3.1% (前年同期 3.1%)	
	半導体	3.2%	21.7%			
	エンベデッドシステム	6.5%	14.1%			
	電源機器	5.5%	31.7%		26.0% (前年同期：25.5%)	欧州 0.6% (前年同期 0.2%)
	画像関連機器・部品	21.1%	17.4%			
	情報システム	5.4%	26.5%			
	電子機器・部品のその他	1.9%	14.9%			
製造装置	半導体・FPD製造装置	11.7%	21.8%	26.0% (前年同期：25.5%)	アジア 9.1% (前年同期 12.0%)	
	電子部品製造装置	10.3%	39.7%			
	製造装置その他	2.8%	2.8%			
全体		100.0%	23.2% (前年同期：22.3%)	26.0% (前年同期：25.5%)	12.7% (前年同期：15.5%)	

 は、当社オリジナル製品を含んだ商品セグメントとなっております。

1 当社と国内製造子会社2社との  
**3社合併**

2 国内製造子会社2社の製造機能を集約する  
**基幹工場の新設**

業界の大きな変化、競争激化に対応し、更なる売上げ拡大を目指すために、

**「製販融合路線」**の確立を図る

# ① 3社合併

商社機能

ダイトエレクトロン株式会社

メーカー機能～電子機器・部品関連～

ダイトデンソー株式会社

メーカー機能～製造装置関連～

ダイトロンテクノロジー株式会社

2017年1月  
3社合併

商社機能とメーカー機能を有機的に融合させた新会社としてスタート

ダイトロン株式会社

⇒ 新たな製販一体路線の追求へ

## 【合併の目的、狙いなど】

- 3社に分散している情報、技術、ノウハウの一元管理により、生み出す価値の最大化を図る
- 機能別分社経営によって行っていた「製販一体路線」の形を、3社合併による機能融合とシナジー最大化を推し進め、更に提案力の高い「製販融合路線」の確立を目指す
- プロダクトブランド「Daitron」と社名の統一により、グループ求心力と対外的企業価値向上を図る

## ② 基幹工場の新設



### 新工場 基本データ

- 所在地：愛知県一宮市
- 敷地面積：16,000㎡
- 延床面積：5,300㎡
- 建築着工：2016年2月
- 工事完成・稼働：2016年11月

### 【基幹工場立ち上げの目的、狙いなど】

- 3社合併によって目指す「製販融合路線」のための体制整備の一環として、製造拠点の整備・強化を図る
- 電子機器・部品関連の生産と製造装置関連の生産を同一拠点に集約することで、生産性の向上を図る
- 従来の製造拠点については、各地域において、研究開発およびエンジニアリング機能に特化した拠点として再構築を図り、地域に根差した営業活動との連携により、顧客密着・顧客満足の向上を追求する

# 『2020ビジョン』への歩み

2011～2013年度  
第7次  
中期経営計画

- 事業基盤の変革を推進
- 事業構造の変革に着手

2014～2016年度  
第8次  
中期経営計画

- 事業基盤の変革を加速
- 経営のスピードアップ

2017～2020年度  
第9次  
中期経営計画

売上・利益の  
成長本格化へ

2020ビジョン

- 過去最高実績を越えて  
更に先の成長を目指す
- 全てのステークホルダーの期待に  
応えるエクセレントカンパニーへ

## 【主なポイント】

- 2016年度は、今後の売上・利益双方の成長の本格化のための「準備期間」と位置づけて、3社合併、基幹工場立ち上げなどの取り組みを着実に推し進める
- 第9次経営計画は、四カ年計画とし、初年度の2017年度は成長本格化のための「助走期間」と位置づけ、各レベルでの統合によるシナジーの最大化を図れる基盤づくりを推し進める
- 2018年度から、『2020ビジョン』に向け、売上・利益の成長本格化へ

この資料で述べられている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。

当社が位置するエレクトロニクス業界の電子機器・部品産業並びに製造装置産業は、テクノロジーの変化やスピードが大変速く、競争の激しい産業です。また、北米やアジア諸国の経済情勢など、当社の業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。

従いまして、今後、当社の業績の見通しが本資料と異なる可能性があることをご含みおき下さい。

《本資料並びにIRに関するお問い合わせ先》

経営システム部 広報・IR担当

TEL:06-6399-5952

FAX : 06-6399-5962

e-mail : kouhou@daitron.co.jp